

お知らせ

平成29年5月2日
大洲河川国道事務所

やわたはまこうぎょうこうこうせい　こうじげんば　しょくばけんがく　じっし 八幡浜工業高校生が工事現場の職場見学を実施しました

当事務所で事業をすすめている国道56号肱川橋橋梁架替について、愛媛県立八幡浜工業高校機械土木工学科土木コースの学生が、工事現場の職場体験を行いました。

- 日時：平成29年4月14日（金）14：00～15：00
- 場所：国道56号肱川橋架替工事現場
- 参加者：愛媛県立八幡浜工業高校機械土木工学科土木コース（3年生：10名）

当日は、パネルで肱川橋の橋脚基礎の取壊し工事について説明を受け、取壊し中の橋脚の中から現れた大正期に造られたレンガ造りの橋脚に触れてもらいました。

その後、ハンマグラブを用いた橋脚基礎の取壊し作業や、クレーン車による橋梁上部の撤去作業を見学してもらい、最後は工事現場を背景に記念撮影を行いました。

「土木の仕事に就きたい人は？」との問い合わせに、参加者全員が挙手してくれました。参加した生徒からは、「肱川橋の橋脚がレンガでできており100年間も壊れずにいたことにびっくりした」、「古いものからいろいろなものを学び、きちんとした新しいものを造る技術者になりたい」などの感想をいただきました。

今回の現場見学会では、土木工学科土木コースを履修されている建設産業の担い手の10名の方に、普段はあまり見ることのできない建設機械や実際の工事現場の見学だけでなく、肱川橋の歴史にもふれていただけました。

今後も公共事業の重要性や、建設産業の担い手確保の一環として、継続した現場見学会を開催したいと考えております。



ハンマグラブによる作業見学



104年前のレンガに触れる

